

2009年4月から2012年5月までに入院され、脳動脈瘤ネッククリッピング術あるいはコイル塞栓術を受けた患者さんへ

「脳動脈瘤に対しての手術成績と長期予後の検討」に関するデータ使用のお願い

川崎医科大学附属病院
脳神経外科 宇野 昌明

くも膜下出血の原因である脳動脈瘤破裂予防手術として、脳動脈瘤ネッククリッピング術あるいはコイル塞栓術が保険適応下に行われています。当病院でも両者の手術を患者さんごとに最も適した方法を選択して行っています。

本研究では、脳動脈瘤ネッククリッピング術あるいはコイル塞栓術の手術成績と長期予後に関する後ろ向き研究を行っています。具体的には、2009年4月から2012年5月までに当院脳神経外科に入院し、脳動脈瘤ネッククリッピング術あるいはコイル塞栓術を受けた患者さんが対象です。今回、診療で得られたデータをまとめ、学会に報告する予定であります。つきましては、診療で得られたデータを研究に使用する事にご理解とご協力を賜りたく存じます。

この研究は、通常の日常診療の結果を集めて分析するだけですので、患者さんに新たな負担が生じることはありません。また、患者さんの住所・氏名など個人が特定されるような情報が第三者に知られることはありません。なお、この研究は医師による自主研究で学内研究費のみを使用する研究のため、いかなる製薬会社、医療機器会社との間において利害関係や利益相反は存在しません。

もし、この研究の内容についての質問や研究の内容をもっと詳しく知りたい場合には、担当医師もしくは、下記担当者までご連絡ください。

担当 宇野 昌明（川崎医科大学附属病院 脳神経外科 部長）

電話番号：086-462-1111（代）

FAX：086-462-1199